

令和2年9月市議会定例会 一般質問

個別質問答弁書

質問第19号

金沢 広美

議員

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
1 コロナ禍とこれからの働き方対策についての質問				ハローワーク上田管内の有効求人倍率は、今年5月から3か月連続で1倍を下回る厳しい雇用情勢にあり、特に事業所の新規求人が大幅に落ち込み、5月には10年ぶりに1,000人を割り込む低い数値となりました。			
(1) コロナ禍とこれからの働き方対策							
ア 上田市の5月以降の有効求人倍率は、1.0倍を下回っているが、どのように捉えているか。企業と求職者の状況をどのように分析しているか。また、雇い止めの状況と課題は何か。				<p>一方、一部には事業主都合による人員整理や雇い止めが見られますが、新規の求職者数は、前年同時期と比べても増加しておらず、また雇用の維持を図る「雇用調整助成金」の申請件数も伸びていることから、各事業所が雇用の維持に努めているものと考えます。</p> <p>また、7月に開催した、新卒者の合同就職面接会には、幅広い業種の企業が参加しており、新卒者や若者への企業の採用意欲は高いものがあります。</p> <p>現状の課題として、企業にとっては、先行きの不透明感に起因する求人意欲の低下が、また、有効求人倍率は1倍を下回るものの、医療・福祉・介護や建設などの業種では、依然として人手不足の状況が続いていることから、求人と求職者とのミスマッチがあると考えます。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
イ 市内事業所の休業や廃業の状況はどうか。また、休業や廃業の要因をどのように考えるか。また、一時的に雇用の維持が難しくなった事業所と人手不足の事業所をマッチングするための仲介については、どのように考えているか。				<p>市内の新型コロナウイルス関連の大型倒産として、現在まで旅館業で1件発生し、厳しい状況が増えています。</p> <p>また、事業者との懇談や商工団体、並びに金融機関等と協議を重ねる中では、短期的には行政や金融機関の支援により事業継続が出来ているものの、市内においてコロナ感染者が多く発生したことにより、特に中心市街地の飲食店においては、売上減少等厳しい状況に陥っていることを把握しています。</p> <p>このような状況が続くと、今後、潜在的な廃業が増える見込みもあるため、事業者の皆様や関係機関との情報収集を密にし、感染予防対策と経済活動の両立を図られるよう、具体的な支援をしていきたいと考えます。</p> <p>次に、雇用維持が難しい事業所と人材不足の事業所とのマッチングに関し、事業所間同士のマッチングは実施されていませんが、事業活動が停滞し、休業を余儀なくされた従業員や失業された方と、人材確保を目指す事業所とのマッチング事業を、県（産業労働部）が「長野県就業支援デスク緊急就業サポート</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
				<p>事業」として、ARECが「地域人材バンクなの」として実施しています。</p>			
				<p>現状、両事業とも人材を求める企業の登録が少ないとのことであり、就職先の確保が課題と考えます。</p>			
				<p>市としては、これらの事業を有効に活用したく、商工団体、庁内関係課とも連携し、市内事業所や団体が積極的に参加するよう働きかけることで、多くの求職者の就職につながるよう、企業と求職者とのマッチングを進めていきます。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	総務課
質問要旨				答 弁			
1	コロナ禍とこれからの働き方対策についての質問		在宅勤務については、緊急事態宣言が出されている期間を中心とした4月22日から5月31日までの間、全所属を対象に、出勤者が概ね2割減となるよう実施しました。				
(1)	コロナ禍とこれからの働き方対策		実績としては、在宅勤務や各種休暇等の取得も含めて職場の職員の削減率は21.7%、在宅勤務の実施人数は延4,878人となり、一定の成果はあったものと考えてますが、職場により実施状況にばらつきが出るなど、課題も浮かび上がりました。				
ウ	コロナ禍での市職員の在宅勤務に関して、次の項目の状況などはどうか。		また、主な業務内容につきましては、文書作成や資料整理、各種業務における情報収集や計画の検討など、個人情報扱わない業務を中心に、各所属の実情に応じ実施しました。				
(ア)	在宅勤務を行った人数と業務内容はどうか。		課題としては、セキュリティの観点から個人情報を扱う業務が行えないことにより、在宅でできる業務がかなり制限されてしまうということがあり、継続				
(イ)	課題はどうか。						

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	総務課
質問要旨				答 弁			
				<p>的な在宅勤務を実施していくためには、自宅でも職場と同等程度の環境を整備する必要があったと感じました。</p>			
				<p>また、総務や企画系の業務が中心な所属は、比較的在宅勤務が可能である一方、窓口業務や直接市民サービスを提供する業務が中心の所属は、実施が難しいなど、各所属の業務内容や職員体制を踏まえた対応が必要であると感じました。</p>			
<p>(ウ)通勤時間の削減につながるなどの効果はどうか。</p>				<p>効果については、在宅では業務内容が制限されてしまうことから、業務上でのメリットはなかなか見出せないところですが、職員の通勤にかかる負担の軽減や、職場での勤務と違い、電話や来客などによる中断が入らない分、業務に集中でき、生産性が向上し、結果として職員のワーク・ライフ・バランスの推進につながるなど一定の効果はあるものと考えています。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	総務課
質問要旨				答 弁			
(イ) 業務評価の実施方法はどうか。				<p>在宅勤務の実施にあたっては、所属長が在宅勤務を命ずる際にあらかじめ業務を指示するとともに、実施後には、実際に従事した業務や成果について所属長へ報告することとしており、適切な業務管理が行われているものと考えています。</p> <p>また、所属長と職員との間で、業務内容とその成果について共通に理解が行われており、評価についても適正に行われているものと考えています。</p>			
(オ) 2015年6月のサイバー攻撃を踏まえたセキュリティ対策はどのように実施したか。				<p>市では、日本年金機構と同様の標的型サイバー攻撃を受けて以降、こうしたセキュリティ事故が発生しないよう対策の強化に努めてきました。</p> <p>具体的には、インターネットからの不正侵入を防ぐため、ネットワークを情報の重要度別に分離するとともに、県内自治体と共同で庁内からのインターネット利用に対する不正通信を県のセキュリティクラウドにおいて監視しています。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	19	号	質問議員	金沢 広美	議員	担当課	総務課
質問要旨				答 弁			
				<p>更に、内部からの情報漏洩を防ぐため、ＩＣカードによる情報システムへのアクセス制限やシステム操作の記録、外部媒体による情報の持ち出し制限のほか、セキュリティ研修や訓練による職員の意識向上にも取り組んでいます。</p>			
				<p>今後につきましても、国や情報関連機関から提供される情報の把握に努めながら、新たなＩＣＴの活用も踏まえて、セキュリティ対策の強化に取り組んでいきます。</p>			